



本市の景観は、吾妻連峰、阿武隈川、信夫山に代表されるような豊かな自然とともに、暮らしに溶け込んだ身近な自然が基本となっています。それらを背景として、市民の暮らしが成り立ち、地域の歴史が育まれてきました。

“福島らしさ”を印象づける景観を守り、育むため、本市は、平成13年に景観条例の制定と併せ本計画を策定し景観形成を推進してきました。

本計画においては、本市特有の景観を守り、育むために、『**ふくしまの個性を生かし魅力を演出する景観づくり**』を基本理念とした景観形成を推進します。

また、本市の目指すべき景観像を『**未来に伝えたいふるさとの景観^{たからもの}があふれるまち**』とし、地域の大切な景観資源とともに、それらを守り、育むための活動を後世へ継承していきます。

基本理念

ふくしまの個性を生かし魅力を演出する景観づくり

景観像

未来に伝えたいふるさとの^{たからもの}景観があふれるまち

